

◆◆◆読書の秋◆◆◆

■「不読率」という言葉があります。ここで言う「不読」というのは、一か月に一冊も本を読まないこと。右は全国学校図書館協議会による不読率の推移。

上から高校生、中学生、小学生のデータです。

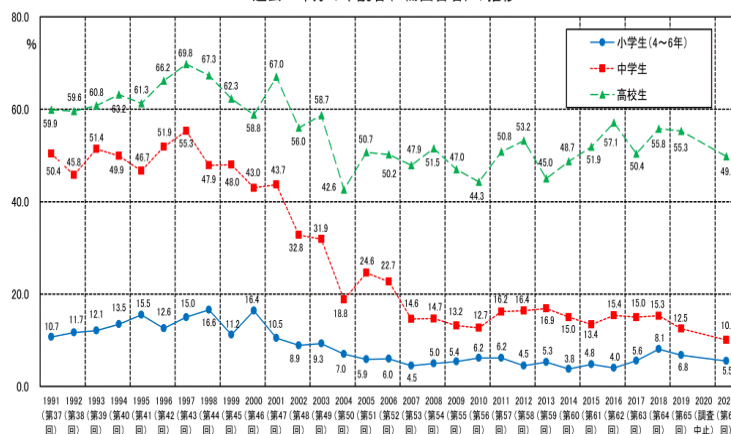
令和2年度の調査結果は、高校生51.2%、中学生10.1%そして小学生は5.5%です。

高校生の半数はひと月に一冊も本を

読まない。これは衝撃です。中学生の不読率はずいぶん改善されています。

小学生はしばらく横ばい。それでも私は「5.5%の子どもが不読」というのはやっぱり多い。何とかしなければ、と思います。

過去31年分の不読率(0冊回答者)の推移



■読まない理由は何か。

小学生が挙げた主な理由は次の通りです。

- ▲テレビやYouTube等の動画を観るのに時間を使うから。(17%)
- ▲ゲームをするのに時間を使うから。(15%)
- ▲マンガや雑誌の方が面白いから。(14%)
- ▲読みたい本がないから。(10%)



だろうね、という結果、理由です。

■テレビや動画、マンガも楽しいです。音と映像の魅力は否定しません。

でも本だって楽しい。自分のペースで文字を追いながら想像をめぐらせたり発見したり。そんな楽しさを、まずは学校でたっぷり、しっかり味わわせたいと思います。

目にするもの、聞こえてくる音や声、肌で感じる風や空気がすっかり秋めいてきました。読書の秋です。

掃除が終わって5時間目が始まるまでの十分間の読書タイム。

それぞれ選んだ本に向かう子どもたち。教室は静謐な空気で満たされています。